第129号 2022.10.26



CONTENTS

- 01 巻頭言
- 02 魅力発見フェスタ2022
- 03 ディープラーニングコンテスト2022
- 05 令和4年度の学寮運営
- 06 寮祭2022 煌祭
- 07 ドミタウン2022 (活動報告)
- 08 キャリア教育支援活動近況
- 09 豊田高専に入学して
- 11 フォトカレンダー(3・4・5月)
- 12 フォトカレンダー(6・7月)
- 13 高専体育大会報告、高専体育大会(体験記)
- 15 海外留学体験
- 17 新外国人留学生紹介
- 18 国際交流センターだより
- 19 新任教職員紹介
- 21 学生サポート室だより
- 23 フォトカレンダー(8・9・10月)



National Institute

1e

chnology(KOSEN),

Toyota

Colle

9



豊田高専の伝統

豊田工業高等専門学校長 山田 陽滋

"国立高等専門学校の東海地区体育大会は、昭和38年に豊田高専を会場に第1回大会が開催されて以来、今年で第60回を迎えます。限られた時間の中で第1回大会の記録を探し当てることはできませんでしたが、その後昭和41年にやはり豊田高専で開催された第1回全国大会の記録が残っていました。ガリ版印刷とおぼしき配布物には、競技種目でとに入賞者の名前と記録が手書きで残されていました。当時を回顧するとき、今大会のすべての競技に参加する学生諸君には、ぜひ歴代の先輩たちがこれまで繰り広げて来た数々の名勝負に想いを馳せ、この歴史の重みとともに自分たちがあることを名誉に感じながら、正々堂々、最後まで力を出し切って戦っていただきたいと強く願っています。"

これは、私が「第60回東海地区国立高等専門学校体育大 会」の大会長を拝命し、監修した競技パンフレットの巻頭言 で綴った文章の冒頭段落です。その後、本稿を執筆する機会 を得るまでのひと月余りの間に、体育大会は、週末に各地で にぎやかに競技種目が繰り広げられ、その成績が、それぞれ の競技の顧問や担当の教員によってつぎの週明けに報告さ れてきています。学生諸君の奮闘ぶりとともに報じられる成 績には、ソフトテニス男子個人ダブルス、女子団体優勝、水泳 総合優勝などがあり、輝かしい成果は毎週のように報じられ てきました。私は、体育大会長役を負って、主管の競技種目の 大会に毎週のように出かけ、応援し入賞者を称えてきました が、豊田高専の学生が活躍すると、やはり大変嬉しく誇らし い気持ちになりました。同時に、これまで長年にわたり受け継 がれてきたであろう、文武両道を目指す学生君たちがベスト を尽くすという、脈々と繋がる伝統的な精神の世代間の授受 のようなものを背景に感じました。

体育系だけでなく、豊田高専が全国大会出場最多校のひとつに数えられるロボコン(ロボットコンテスト)、日本大会優勝3回を始め、同大会常連で世界大会でも注目されているロボカップの名前がすぐに挙がってきます。さらに競技実績だけでなく、1970年から始まった、1,2年生全寮制度におけるドミタイ(ドミトリー大会)というコンペを伴う催しも2003年の第1回以来、脈々と受け継がれてきています。近年のコロナ禍をも乗り越え、今年も、作品としての表現技術を着々と高めながら各寮各フロア対抗で演じられた動画が見事に披露されました。

さて、「伝統」は、使い手に便益が生じる便利な言葉で、それゆえにしばしば耳にする言葉でもあります。これは、難しい表現を使うと、「伝統」が解釈学的な概念を示すものである、つまりなぜ、そしてどのようにして伝統というものが生き残って



現在に至っているかを理解する上で必要な言葉である、だから便利に使われるということです。この「伝統」という言葉が原義で使われるようになったのは、少なくともあのルネ・デカルトの時代で16世紀に遡るそうです。当時は、芸術等文化の様式で、歴史を通じ受け継がれていくものが「伝統」でした。その後、伝統の対象は拡大し、20世紀に入りマックス・シェーラーは、受け継がれる様式ではなく、受け継ぐ人々の精神的態度こそが伝統の本質であると主張し、これが現在、「伝統」の定義に加わっています。伝統をただ演じるだけでは時代の変化についていけないから、伝統の担い手は伝統の中に身を置きつつ、現代向きに技能をアレンジして(過去と現在の)相互充足を図るという重層な精神活動をそこに作用させているといえるでしょう。

来年の2023年、豊田高専は創立60周年を迎えます。これを記念して、今から記念講演の開催や記念誌の編集を企画しています。記念誌に収められる写真から窺い知れる学生諸君のプレイ、演奏、プレゼン等々は、彼、彼女らの頑張りの表れであり、そのときどきを彩るワンシーンの集まりでありましょう。しかしそれだけでなく、創立20周年から10年を単位としてこれまでに編まれた記念誌を読み繋ぐと、古くから催されるイベントに向かう学生諸君の表情の変化に豊田高専の伝統が浮かび上がってきます。そして、それらは今後さらに10年先、20年先と伝統のスリットによって見え隠れを繰り返す中で、それぞれの時代を反映した輝きをさらに増して行くに違いありません。

魅力発見フェスタ2022

総務主事機械工学科教授 清水 利弘

豊田市高等学校魅力発見フェスタは、今年度で9回目となる。2019年度までは、豊田市スカイホールで豊田市内の公立学校(高等学校・高等専門学校・特別支援学校) 15校がブースで学校案内をして、ステージ発表もされていました。しかし、2019年度より、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、各校がPR動画を作成し、小中学生や保護者、市民に公開しています。2022年度は、これまでの取り組みへの振り返りから、早くからPR動画を作成して、ケーブルテレビや市公式Youtubeチャンネルで配信することが決定しました。本校からは実行委員として環境都市工学科2年生の内藤万結さんと堀場小雪さんが中心になって、職員や学生に助けてもらいながらフェスタ全体の運営や、本校のPR動画作成に取り組みました。

一人でも多くの中学生に

環境都市工学科 2年 堀場 小雪:写真左

今回、豊田高専の魅力を中学生の方に伝える活動を学校の代表としてさせていただいたことに感謝しています。そして、撮影までの期間、わたしたちをサポートしてくださった先生方や、インタビューなどに協力してくださった方々に心から感謝の気持ちでいっぱいです。実行委員会を通していろいろな方と意見を交換することができ、私も他の高校の魅力をたくさん知ることができてうれしかったです。また、私自身一から動画の構成を考えたり、カメラの前に立って話したことがなかったので本番はとても緊張しました。しかし、撮影業者の方や先生方、そして何より一緒に代表として活動した内藤さんの支えもあり、無事撮影を終えることが出来ました。ドローンを使った撮影も行ったので、豊田高専を上から見てみたいという在校生の方にもおすすめしたい作品となりました。そして何より一人でも多くの中学生の方に豊田高専の魅力が伝わることを願っています。

貴重な経験

環境都市工学科 2年 内藤 万結:写真右

豊田魅力発見フェスタ実行委員の内藤万結です。

9回目となる今年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、市内の公立学校15校が一堂に会することを避け、各校がPR動画を制作しました。PR動画には豊田高専の学生が出演し、特色ある取り組みや魅力、教育課程や進路などを約10分で紹介します。私も動画の中でナレーションやインタビューなどを担当しました。中学生や小学生の方々に、分かりやすく楽しく見ることができるようなものになるように工夫を重ねました。撮影にむけて業者の方と本格的な話し合いをしたことは、私自身初めての経験で、緊張することもありましたが自分がどうしたいのかをしっかりと伝えることが出来ました。また、何度か行われた実行委員会では他校の生徒の方とお話しする機会が沢山ありました。コロナ禍で他校との関わりが中々ない今の状況で、このような機会を持つことができたことはとても新鮮で貴重なことだったと思います。作成したPR動画は地元ケーブルテレビ局「ひまわりネットワーク」の「ひまわり11チャンネル」での放送や豊田市公式ユーチューブチャンネルで視聴することができます。この動画を通してより多くの人に豊田高専のことを知っていただけたら嬉しいです!



ディープラーニングコンテスト

〉〉大舞台! ベンチャーキャピタリストとの対峙!

情報工学科 教授

早坂 太一

環境都市工学科 講師 大力

大畑 卓也

ディープラーニング(深層学習)は、第3次AIブームの主要技術として、ここ10年あまり注目され続けています。その理論はなかなか難しいものですが、高専生の技術力があれば、そこそこ計算能力のあるコンピュータで、ディープラーニングを利用したAIシステムを開発することはできます。全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト(以下DCON)は、そうした背景の下で、ものづくりの技術力だけでなく、市場価値の評価により作品の優劣を競うという、全く新しい観点での高専間コンテストです。

3年ほど前から、情報工学科および環境都市工学科の 二つの研究室の学生を巻き込みながら、分野横断型のプロジェクトとして、DCONへ応募する作品を開発してきました。技術的評価による一次審査は通るのですが、二次審査はメンターが独自の観点で選ぶため、そのツボがわからず、昨年は落選となりました。今年のDCON2022では、生物の生態をIoTで見守るバイオロギングを専門とする株式会社RABO伊豫愉芸子CEOに見初められ、見事本選に進出することができました。

予選通過の通知を受けてから本選までの約3か月間は、当日のピッチ(主にビジネスの場面での短いプレゼンテーション)のための情報調査、スライド作成、そして練習に明け暮れた日々でした。就職活動も並行して進めなければならなかった二人の専攻科生は、本当に大変だったと思

います。しかしながら、DCONの大舞台に立ち、今までの学生生活の中で接したこともないベンチャーキャピタリストたちの前で自らの作品を紹介し、投資対象としての評価を得た経験は、一生の思い出になったことと思います。ハイレベルなコンテストではありますが、この文章を読むすべての豊田高専生に、この得難い体験をしていただきたく、どんどんチャレンジしてほしいと思っています。

新聞やテレビ番組でも紹介されておりますが、本校の 作品「JOHS 一熱中症リスクを可視化する健康レジリエ ンスシステムー は、熱中症のリスクを顔写真および温湿 度データから判定するエッジAIです。コロナ禍というこ とで、AIの学習に用いる顔写真の収集にはかなりの制限 がありましたが、環境都市工学科の卒業生の皆様に、導入 する現場側の観点からご意見も頂戴し、非接触型かつ比 較的安価なシステムとして、何とか実現することができま した。熱中症は昨今の日本全体における大きな問題となっ ており、DCON2022本選では、そうした背景をご理解い ただいたWestern Digital合同会社から企業賞を頂いて おります。心拍などのバイタルとの組み合わせ、複数人数 の同時判定、現場で働く年代の方々の顔写真収集など、実 用に至るまでの課題はまだまだ山積みではありますが、 熱中症への対策の一つとして、じっくりとクリアしていき たいと考えています。



2022

〉〉高専生の価値

情報科学専攻 2年 村上 智久真

深層学習は世界的に注目されている技術の1つです。この技術をテーマにしたコンテストは、僕の調べた中ではこのDCONしかありません。つまり、高専生だからこういった最新技術のコンテストに出場できるわけです。

このコンテストを通して感じたのは、ものづくりができる高専生の凄さです。普段何気なく授業でものづくりをしていますが、それが社会的にどのくらい価値があるのかというところまでは知らない人が多数派だと思います。しかしこのコンテストではその価値というものを企業評価額という具体的な数値で見ることができます。我々のチームは本選に出場した10チームの中では最下位でしたが、そ

れでも5000万円という価値が付きました。さらに大会中も大会前後でも様々な企業様から出資などのお話をいただいたり、各メディア様から取材をしていただいたりと、意外と自分たちは社会的に注目度や価値が高いのだということをものすごく感じました。

また、普段の授業では何か作って終わりですが、それを ビジネスとする際にどういった戦略でどういった計画で事 業展開していくかといった起業家目線でのエンジニアリ ングも学べてとても貴重な経験となりました。ぜひ、我こ そはという後輩にも挑戦してみてほしいです。想像の何倍 も素晴らしい経験をすることができます。

〉〉ディープラーニングコンテスト2022

建設工学専攻 2年 安田 悠哉

我々は日本ディープラーニング協会が主催するDCONに出場した。この大会は各高専生がものづくりとディープラーニングを組み合わせてオリジナルの作品を作製する。そして、ディープラーニングの専門家や企業の技術者たちによる製品に対するアドバイス以外にも実際に起業した経験を持つ社長や投資家たちによる製品が実際に社会に出た時の市場規模や市場価値などで競い合う大会である。コンテストの本選に出場が決まったチームに対して一人だけメンターと言われるベンチャー企業の社長がつき、製品の改良や事業展開、発表スライドについてアドバイス

してくれる。そのメンターとチームメンバーで審査員やテレビカメラの前で発表する。発表は5分で、質疑応答も5分の計10分で行われたが、私たちが想定していない質問が来たり、テレビカメラが約10台もあったりと、とても緊張したことを今でも鮮明に覚えている。

最後に私たちは普段から卒業研究などで社会にないような新しいものを作製していると思う。しかし、その製品が社会に対してどんな価値があるかは考えたことがないと思う。自分の作製しているものが社会に出たらどんな影響があるのか考えてみたら面白いと思う。



寮運営の近況

3年目のコロナ禍における寮運営になります。引き続き特別運営ルール下での寮運営であり、居室についても人数を制限して使用している状況です。3年目ともなると、4・5年生の学生しかコロナ禍より前の寮の様子を知らないことになります。コロナ以前を知る寮生からは、感染症対策を行いつつよりよい寮生活を行うための提案が数多く出されています。新年度始めの4月には新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いていたこともあり、指導寮生たちの協力のもと低学年寮生の「朝体操」を2年ぶりに再開しました(写真1)。翌5月には(5月7日(土)・8日(日))、1月から準備を続けてきた寮祭を無事に実施することができました。ドミトリー大賞(ドミタイ)は昨年度と同様の事前収録のビデオでの開催となりましたが、コロナ対策を施しつつ各種イベントを行い、模擬店も3年ぶりに復活しました。5月のアセンブリ(寮生集会)では、留学生による出身国の紹介(写真2)や学寮担当教員によるいじめ防止に関する講話を行いました。6月には昨年は企画段階で終わってしまった夏の寮内イベント「夏祭り」も実施することができました(写真3)。寮生会執行部の皆さんも、コロナ禍における食室や学習室などの使用の在り方について積極的に意見を出し、運営に大きく寄与しています。まだコロナ前のようにはいきませんが、昨年、一昨年に比べると寮内にも大分活気が戻ってきました。これも寮生の皆さんが我慢するところは我慢しながら、感染症対策に協力的であるおかげです。

栄志寮の建て替え

6月には令和3年度に約1年かけて建て替えられた栄志寮の運用が始まりました(写真4)。「豊田高専50年史」によれば、旧栄志寮は豊田高専の学寮の中で最も古い建物で、昭和39年(西暦1964年)に建築され、当時は北寮という名称だったようです。その栄志寮の最西端には、待望の新しい男子大浴場も作られました(写真5)。旧栄志寮の西側には「栄志西集会室」と呼ばれていた集会所がありましたが、今回浴室の2階部分に作り替えられました(写真6、畳の数を数えたところ68枚ありました)。

学寮指導員の紹介

今年度は、小野田道子さん、田中亀仁さん、三宅育夫さん、山上博信さん、山下隆則さんの5人の方々が学寮指導員として寮生の生活をサポートしてくださっています。小野田さんは寮母として、田中さんは日中、おもに学寮の施設や周辺環境の整備をしてくださっています。三宅さん、山上さんと山下さんは夜間、宿直教員や寮母さんと連携しながら、点呼確認、寮生の病気や怪我への対応をはじめとした業務を担ってくださっています。寮運営には欠くことのできない皆さんです。

令和4年度の学寮運営についてご報告致しました。今後とも学寮運営に対するご理解とご協力をどうぞよろしくお願い致します。













寮祭2022 煌祭

建築学科 4年 望月 結衣

今年の寮祭のテーマは「煌祭」でした。このテーマには、ひとりひとりが煌めく・光り輝くことのできる、キラキラとした思い出を作ることができる、寮祭にしようという意味が込められています。また、「煌めく」という言葉には光で明るくするという意味があり、コロナ禍での寮生活を煌祭が明るく照らし輝かしいものにしようという思いも込められています。寮祭に参加した人の思い出がキラキラとしたものであったら嬉しいです。

寮祭の良さ

寮祭の良さは「たくさんの人と仲良くなれる」ことだと思います。寮祭では、普段は関わることのない他学科の友人や、先輩・後輩と様々な作業を通じて、絆を深めることができます。寮祭の準備は複数人で協力しなければ行えないものです。初めて関わる人ともお互いに意見を出し合い、助け合いながら協力していくことが必要です。時には衝突しながらも、共にたくさん考え、話し合い協力してきた仲間とその思い出は、かけがえのない宝物になるはずです。

コロナ禍での寮祭

今年度もコロナ禍での開催となりました。感染症対策の制約のもとでも、充実した寮祭になるように、皆でアイデアを出し合いました。昨年度は行うことが出来なかった電飾によるトーチトワリングの実演は、とても迫力のある美しいものでした。2年ぶりに模擬店も出店することがで

きました。飲食スペースの座席指定などのルールはありましたが、各出店団体の個性がみられて大盛況でした。寮祭を作り上げていく上で、私は実行委員長として、みんなの意見を聞くことが大切だと考えました。春休みから各パート活動に顔を出し、実行委員とコミュニケーションを頻繁にとることで、気兼ねなく意見を言い合える関係を作ることができました。そのことが、より良い寮祭を作り上げるためのアイデアに繋がったと思います。特にパートリーダーは、寮祭の経験があまりない中、判断を求められることもあり、大変だったと思います。しかし、とても積極的で私の方が助けられることも多く、感謝しています。

最後に一言

今年度、寮祭実行委員長として、煌祭を開催することができて、本当に良かったと思います。実行委員長をやるにあたりサポートしていただいた先生方、寮務係の方々、そして何より、一緒に寮祭をより良いものにしようと努力してくれた、パートリーダーをはじめとする実行委員の後輩たち、私を支えていただきありがとうございました。みなさんのおかげで今年の寮祭も無事開催することが出来ました。「寮祭」という参加者全員が楽しめる素晴らしい伝統行事が、今後何十年と続いていくことを願っています。







ドミタウン2022

授業でもない、部活動でもない、高専発のまちづくり『豊田高専ドミタウン』

豊田高専ドミタウン実行委員会 環境都市工学科 准教授 佐藤 雄哉



地域の方による田植えの説明



田植えの様子(絶好の田植え日和)



田植えの様子(まっすぐ植えるのは難しい)

多世代参加型交流事業「豊田高専ドミタウン」は、学生と教職員の有志が豊田高専ドミタウン実行委員会を平成27年に結成し、活動8年目に入った活動です。ドミタウンとは、「学寮(ドミトリー)の仕組みを取り入れて多世代が交流するまち(タウン)」のことです。ドミタウンでは、寮の「点呼」や高学年が低学年をサポートする「指導寮生(ドミタウンでは"チューター"と呼称)」などの仕組みを取り入れ、参加小学生にも学生寮の仕組みを体験してもらっています。これまで、豊田市笹戸町を活動拠点に、学生、教職員、地域住民の方々、公募した小学生たちが一つになって、休耕地を活用した稲作や畑作、科学工作などに取り組んできました。ドミタウンは授業や部活動でもなく、一緒に活動したい!と手を挙げた学生が集まり、教職員がそれを支援する形で、活動のたびに公募する小学生の参加者や豊田市笹戸町をはじめとする地域の方々と様々な活動を展開しています。

毎年6月頃に豊田市笹戸町にある休耕地でもち米の田植えをし、7月から8月には田の草引きやジャンボタニシとの格闘があり、9月中旬~10月初旬に稲刈りをします。また、高専生が各専門学科で学ぶ"技術"を活かし、学生が企画する様々な科学工作教室を実施することや、他団体の方々とコラボして活動するなど、自分たちができる範囲で"多

世代交流によってつくられるまち"を創出するための活動に取り組んでいます。さらに、活動資金の一部を自分たちで調達するため、収穫したもち米を豊田高専の文化祭「こうよう祭」で販売するなど、継続的に活動していく仕組み作りも進んでいます。

今年度は、5月1日に学生·教職員で笹戸町の散策と科学工作教室の試作を実施し、5月22日には小学生と一緒に、科学工作教室と田植え体験を実



代表学生(4C稲石さん)による説明

施しました。科学工作教室では、コロナ禍前の令和元年から温め続けてきた企画である「ビー玉万華鏡づくり」に取り組みました。小学生と共に活動するのは、令和元年9月以来、実に2年半ぶりでした。3年生以下の大半の学生は、小学生と一緒に豊田高専ドミタウンで活動した経験がありませんでしたが、高学年学生の牽引力や5月1日に小学生と一緒に活動することを想定しながら工作の試作に取り組んだこともあり、大きな問題なく活動が展開できました。

ビー玉万華鏡づくりでは、小学生と学生が一緒に工作に取り組み、学生たちはお兄さんお姉さんとして、参加小学生と一緒に楽しみ、ときには難しい現象を丁寧に説明していました。 田植え体験では、皆で小学生とともに泥だらけになりながら休耕田で田植えを行いました。 この広報が皆さんの手元に届いている時期には、無事に稲刈りも終わっていると思います。

活動の様子はドミタウン実行委員会のFacebookページ(https://www.facebook.com/dormitown/)で随時更新中です。ぜひご覧ください。最後になりましたが、地域の皆様、協働していただいている他団体の皆様など、本活動では多方面の皆様から多大なご支援とご協力をいただいております。心より深く御礼申し上げます。



万華鏡づくりの材料準備



科学工作教室・万華鏡づくり



キャリア教育支援活動近況

キャリア教育支援室より

キャリア教育支援室長 機械工学科 教授 鬼頭 俊介

キャリア教育支援室では学生の進路選択の支援をするための様々なプログラムを各学年で用意しています。高専生の就職 率は良いとよく言われていますが、自分の性格、適性などの自己分析や会社・業界の研究をしっかり行わずに就職先を選んで しまうと、会社とのミスマッチが生じてしまいます。そこで、1年生から将来を見据えて目的意識を持って学校生活を送り、より 良い進路選択ができるようにという思いでプログラムを計画しています。

以下に主なプログラムを紹介します。第1学年では「将来イメージ講座」で学科ごとの卒業後の進路や必要な学力・能力、5年 間で学習する専門科目の構成を示し、目標を立てさせます。「スキルアップ講座」では、先輩方(5年生・専攻科生)の話を聞き、各 自の目標に対して在学中にできる事や低学年からすべき事を提示します。第2学年では、「目標設定・確認講座 | で1年次の振り 返り、目標に対して取り組んでいることを再確認します。また、「今の私・卒業後の私①」では各学科の先輩方から話を聞き、卒 業後に向けて、今何をすべきかを考えます。さらに、「人間力講演会」を行います。第3学年では、「キャリア・プランニング」で今 までの高専生活の自己評価および現時点で自分の不足している部分を分析し、自己紹介書を書きます。また、「社会が求める人 材」の講演会を行っています。さらに、「今の私・卒業の私②」では会社や業界の調査・研究および発表を行います。第4学年で は、就職活動やインターンシップを念頭に置いて、外部講師による「ビジネスマナー講座」や「履歴書の作成・添削講座」、「模擬 面接講座」、女子学生向けに「メイクアップ講座」、また、同窓会のご協力により卒業生が講師を務める「自己表現力向上プログ ラム |、「同窓生による模擬面接講座 |などを開催しています、学生諸君がこれらのプログラムを通じて自己研鑽を図り、後で後 悔しないような進路選択をすることを願っております。

第1学年では従来6月に学外の研修施設において1泊2日で合宿研修を行っていましたが、今年度はこれに代わるものとし て、6月11日(土)に本校で研修を行い、「いじめ·SNSトラブルについて」の講演、「コミュニケーションとチームワーク」の講座を 行いました。「コミュニケーションとチームワーク」では、4人で1つのグループを作り、椅子に座っている人を会話により立たせる という劇を演じました。成功したグループは無かったのですが、場面設定や役割、会話の内容など、話し合いでいろんなアイデア が出て、チームで仕事をするという意味、コミュニケーションの大切さを知るきっかけになったのではないかと思います。



1年研修「椅子に座って本を読んでいる人を 90秒以内で立たせる」ミッション



1年「将来イメージ講座」



3年「キャリア・プランニング」

豊|田|高|専|に|入|学|し|て

I'm lovin' it

機械工学科 1年 坂根 佑弥

普通校では経験することのできないロボコン!僕はこの一風変わった高専ロボコンで自分の 技術力や知識を向上させるべく豊田高専に入学し、今はロボコンBに所属しています。

僕が入学して強く感じたことは、どの先輩も自分の個性を光り輝かせて、お互いを照らしなが ら生活していることです。実際にロボコンBでも制作や回路、設計などのプロフェッショナルがお 互いを助け合って日々大会に向けて切磋琢磨していました。

僕は機械工学科でありながらも、ロボットをプログラミングで制御する班に所属しています。そ れは将来、自学科の専門科目とロボコンで学んだ他学科で学ぶ知識を組み合わせて自分で一か ら好きな機械やロボットを作れるようになりたいからです。皆さんも自分の作りたいものをすべ て一から作り上げる自分を想像してみてください。とても輝いて見えませんか?僕は先輩がそう輝 いているように見えてとてもかっこよかったです。

これからはロボコンの勉強に励み、制御班としてロボット制作に携わって将来的に国技館での

景色をこの目で見てみたいです。そして昔の僕のように、テレビでロボコンを見て目を光り輝かせる人をたくさん増やすことが僕

あなたの選択肢に「ロボコン |を。



電気・電子システム工学科 1年 井上 紅晴

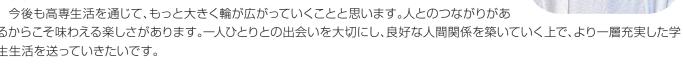
『人とのつながり』

僕は入学して今までにたくさんの人と関わっていく中で、「人とのつながり」の大切さを 様々な 場面で実感することができました。

入学して間もない頃に、自宅通学生である僕が寮祭への参加を悩んでいたところ、友人が 気軽 に声をかけてくれ、ファイヤーパートに参加する決意ができました。寮祭へ向けて、大勢の寮生と パート活動に取り組んだことは、他学年や他学科の人たちと交流できる良い機会となりました。そ して、本番当日もみんなのおかげで存分に楽しむことができました。

クラブ活動では、陸上競技部に入部しました。様々なクラブ活動を見学する中で、どれにしよう か迷っていたところ、陸上競技部の先輩たちが親切に教えてくれ、分け隔てなく接してくれたの で、入部を決めました。仲間たちのおかげで、目標へ向かって毎日楽しくクラブ活動に参加できて います。

今後も高専生活を通じて、もっと大きく輪が広がっていくことと思います。人とのつながりがあ るからこそ味わえる楽しさがあります。一人ひとりとの出会いを大切にし、良好な人間関係を築いていく上で、より一層充実した学 生生活を送っていきたいです。



寮生活での成長

情報工学科 1年 中森 大耀

私が入寮して早2ヶ月が経ちました。まだ入寮して間もないですが、不安が残っていた入寮当時 と違い、とても充実した寮生活を送ることが出来ています。特に私の成長に繋がったことは2つ あります。

1つ目は行事です。行事では寮祭などが挙げられます。寮祭を盛り上げるため、授業後に舞台の 準備などに携わる中で達成感を得ることができました。また、寮祭を盛り上げるという同じ目標 に向かって友人と協力することで絆を深めることができました。

2つ目は生活面です。生活面では学習や家事などが挙げられます。小、中学校では学習への意 欲があまり湧かず怠惰な生活を送っていましたが、寮生活の中に設定されている学習時間帯によ り学習の習慣が身につきました。これにより学習と趣味の切り替えがつけられるようになり、一 方に偏らない生活を続けられています。

洗濯や食事を親にしてもらっていたので、寮生活をすることに不安がありましたが、優しい先輩 や友人に恵まれたことでその不安もすぐに消えました。

体育祭やこうよう祭などの様々な行事を楽しみに待ちながら、勉強などの生活面も怠らないようにしていきたいと思います。



早2ヶ月…

環境都市工学科 1年 山口 穂乃佳

入学式からの約2ヶ月間、私は人生で1番早い2ヶ月を過ごしました。それだけこの寮生活が私の中で刺激的で充実したものとなっています。

このような寮生活を送れている理由のひとつに友達の存在があります。それぞれ地元が異なるため、地元の話を聞くことがとても楽しいです。それぞれの地元の名物や、特有のルールを知り日々驚いています。自分の地元の良いところを考える良いきっかけともなりました。他にも週末に買い物へ行って一緒に自炊したりすることが楽しく充実した生活を送ることができています。

また、素晴らしい先輩方との出会いも理由のひとつにあります。階の先輩方は廊下でお喋りして下さったり、寮生活以外のことについても教えて下さります。とても優しい先輩方のおかげで寮生活に不安を抱えていた私も安心することができました。寮祭のパートで関わった先輩方はコミュニケーション能力がとても高く、先輩の方から話しかけて下さったり質問してくださりました。そのため、とても楽しくパート活動ができました。



寮生活を始めてから家族以外の人との関わりが増え、多くの刺激を貰っています。そのおかげで自分自身が成長しているようにも感じます。これからも豊田高専で自分自身を大きく成長させていきたいです。

私が成長できる場所

建築学科 1年 成田 菊乃

高専に入学して2か月、あっという間に時間が過ぎていきますが、たくさんの「はじめて」に触れながら、充実した日々を送っています。

豊田高専には多くの部活動が存在します。メジャーな運動部から鉄航研などの珍しい文化部、高専と言えばロボコンなど、どれも大変魅力的です。その中でも、中学には無かったマネージャーという部活動に惹かれ、私は今、男子バスケットボール部のマネージャーをしています。

男子バスケ部は、個性豊かでとても楽しく、温かい雰囲気のあるチームです。そしてそのような温かい雰囲気には、マネージャーの先輩方の人柄が大きく影響していると思います。先輩方は常に視野が広く、足りないものがあればすぐに気づき、行動されます。また、笑顔で選手とコミュニケーションを取ることを大切にされています。このような、一見気づきにくい心配りが、チーム全体をより良い方向へ導いているのだと感じています。そして同時に、マネージャーとしての成長には、そうした人間力を身に着けることが必要だと気づきました。



私は、たくさんの人との関わりがある部活動こそが、人間力を磨ける場所、人として成長できる場所だと考えています。これからも人との関わりを大切にしながら、部活動で多くの経験を積み、日々成長していきたいです。

専攻科生のリアル

建設工学専攻 1年 筧 優祐

5年間の本科期間を終え、私たちは専攻科生となりました。これまでと同じ学校、同じ風景の登下校、馴染みのあるクラスメイトという環境ではありますが、専攻科生としての新しい学生生活が始まりました。

本科生の時と変わったこととしては主に2点あります。1点目は、少人数での専門講義があるところです。これまでの40人で受けていた講義とはまるで雰囲気が違います。まず、学生と専門の先生との距離が近くなります。本科よりも専門的だったり難しかったりする内容になりますが、大人数のときよりも先生が学生側に合わせて進めやすく、学生も講義中に様々な意見や疑問を持ち、前に増して意欲的な姿勢で学習できるようになったと感じます。このような環境は専攻科ならではのものであり、大学編入の先で二年間の内に先生と距離を縮めることは簡単ではないと思います。2点目は、全学科で受ける講義があり、そこでは学習内容の発表課題が多く設けられているということです。そのため資料作製や発表、先生や同級生との質疑応答などの練習がその講義内でできます。これらで培われる能力は研究者としても、社会人となってからも必要になるものです。



かけひ ゆうすけ

このように、専攻科では生活の変化が小さいのに対し、学習に関しては本科より高度で、かつ他にはないような専攻科ならではのスタイルがありました。本科でのあっという間の5年間よりも短い、2年という期間ですが、私はここで多くのことを学び、成長していきたいと思います。

Calendar

3 MARCH

2022

3月 18日 卒業式 修了生·卒業生を送る会



4 APRIL

2022

4月 5日 入学式

新入生オリエンテーション

4月 7日 前学期授業開始

4月 11日 学寮防災避難訓練

4月 13日 新入生歓迎会

4月 20日 開校記念日(授業日)

4月 22日 第3学年交通安全講習会

4月 27日 学生総会・PRポスター表彰式

4月 29日 自動車等使用実技研修会



5 MAY

2022

5月 18日 第2学年交通安全講習会























新入生歓迎会









JUN

6月 8日 栄志寮(建替え)竣工式

6月 11日 第1学年研修

6月 15日 安全を誓う日・壮行会

6月 25日 高専体育大会(陸上)

JULY

2022

7月 9日 高専体育大会(弓道)

7月9~10日 高専体育大会(ソフトテニス)

7月16~17日 高専体育大会(水泳)

7月 19日 救命救急講習会(水泳部)







高専体育大会報告

第60回東海地区国立高等専門学校体育大会

No o males de la companya del companya del companya de la companya		TIME 111 12 121
陸 上 競 技 男子 女子	第3位 第2位	
テ ニ ス男子団体 女子団体 女子個人シングルス	第2位 第2位 第3位	那須 陽紗希
バドミントン 女子団体 女子個人ダブルス " 女子個人シングルス	第2位 第3位 第3位 第3位	占部 瑠音・椎葉 芽生 鈴置 桃果・山野 ななみ 山野 ななみ
ソフトテニス男子団体男子個人ダブルス"女子団体女子個人ダブルス	第2位 優 勝 第2位 優 勝 第3位	横山 智一・安間 悠人 竹内 景介・櫻井 唯人 山元 瑛稀・宮本 ちかの
空 手 道 総合	第3位	
サッカー	第3位	
不道 団体全国予選 団体勝抜戦 男子個人73kg級 男子個人81kg級 "	第2位 優 勝 第3位 第2位 第3位	伊藤 大河 小池 啓太 米本 直樹
硬式野球	第2位	
剣 道 男子団体全国予選	第2位	
ハンドボール	優 勝	
卓 球 男子団体 男子個人ダブルス 男子個人シングルス 女子団体 女子個人ダブルス 女子個人シングルス	第2位 第2位 第3位 第2位 第2位 第2位	角谷 俊輔·髙橋 柊人 柴山 尚輝 野間 彩愛·角谷 亜美 角谷 亜美

水 泳	総合 男子総合 女子総合	優 勝 優 勝 第2位	
バスケットボール	男子 女子	優 勝 第2位	
弓 道	団体 男子団体全国予選 男子個人全国予選 女子団体全国予選 女子個人全国予選 "	第2位 優 勝 優 2位 優 勝 第3位	豊田高専B 三岡 功弥 藤岡 小温 長岡 瑞樹

陸上競技、水泳競技種目別優勝者及び全国大会出場者

陸 上 男子400m 男子800m 男子400mH 女子200m	第2位 第2位 全国ランキング上位		上位	柴田 篤弥 佐々木 太馳 柴田 篤弥 津曲 香奈	
- 1 - 1	第1位		4		
女子3000m	全国ランキング上位		<u> </u>	志智 結萌	
女子100mH	第1位			冨田 こまち	
女子4×100mリレー	第1位				
女子 走高跳		第1位		鈴村 里緒葉	
水 泳 男子800m自由	形	第1位	永島	島 徹多	
男子200m平波	ìぎ	第1位	佐郎	泰 流生	
男子50m自由	1形	第2位	赤ス	木 秀征	
男子400mメドレーリレ	/—	第1位			
男子100m平泳き		第2位	佐郎	篆 流生	
男子100mバタフラ		第1位	赤ス	木 秀征	
男子200m個人メドレ		第1位	永县	島 徹多	
男子400mフリーリレ	<i>)</i> —	第1位			
女子50m自由	1形	第1位	大区	勺 梨聖	
女子200mフリーリレ	/—	第1位			

第57回全国高等専門学校体育大会

陸 上 男子 400m 男子 800m 男子 400mH 女子 200m 女子 4×100mR	第4位 第6位 第5位 第7位 第3位	柴田 篤弥 佐々木 太馳 柴田 篤弥 津曲 香奈 亀髙 暖・冨田こまち 津曲 香奈・鈴村里緒葉
水 泳 女子200m フリーリレー	第7位	大内 梨聖·向出 絢菜 大須賀 輪·竹村 真希
ハンドボール	優勝	

第9回全国高等専門学校弓道大会

男子 団体戦 第3位 個人戦 男子 優勝 三岡 功弥 女子 個人戦 準優勝 藤岡 小温





建築学科 5年



安間 悠人



高専体育大会(体験記) ▶

最後の高専大会 ソフトテニス部





東海地区大会の個人戦で優勝し、香川県で行われた全国大会に 出場しました。

東海地区大会の団体戦では岐阜高専に敗れ、結果は2位で惜し くも全国大会に出場することはできませんでした。この悔しさを糧 に、翌日に行われた個人戦では、ペアの活躍はもちろんのこと、部 員達や先生方の応援、コーチの指導など、多くの人に支えられた おかげで優勝することができました。僕はキャプテンとしてこの

チームで戦えたことを誇りに思いますし、このチームだからこそ掴み取ることができた勝利だと思います。

そして豊田高専の代表として、東海地区の代表として多くの方々の応援と想いを背負って挑んだ全国大会では、ベス ト16という結果を残すことができました。正直、この結果に悔しい気持ちはありますが、悔いはありません。5年間部活 動を頑張ってきて、このチームで、最高のペアと全国大会に出場できてとても楽しい夏でした。

最後に、ここまで勝ち進むことができたのは、支えてくださった先生方やマネージャー、たくさんの声援をくれた部員 達のおかげです。とても力になりました。本当にありがとうございました。







東海地区高専大会に出場して「バドミントン部

電気·電子システム工学科 3年 佐野 友海

バドミントン部は、6月に三重県鈴鹿市で行われた東海地区高専大会に出場しました。団体戦では全国大会出場、個人戦では各種目入賞以上を目標として、練習に取り組んできました。団体戦は東海地区5校によるリーグ戦により順位が決定され、シングルス2試合、ダブルス1試合の合計3試合のうち、2勝をあげた方が勝者となります。

どの試合も拮抗した試合が展開されましたが、今大会では接戦をものにするこ



とがなかなか出来ませんでした。結果として男子は入賞を果たすことが出来ず、女子は2位という結果に終わりました。個人戦では、女子シングルスと女子ダブルスで3位入賞を果たしました。僕自身、今大会は後悔の残る結果となってしまいました。キャプテンとして取らなければいけない試合

を落としてしまい、勝つことの難しさを痛感しました。今年から1年間留学に行くため、来年度の高専大会には出場出来ませんが、今大会の悔しさを晴らすことが出来るよう、練習に取り組んでいきたいと思います。

先生方、OBの皆さん、部の仲間、大会運営の方々のおかげで各種目で結果を残すと共に、部としてかけがえのない経験を得ることができました。本当にありがとうございました。



全国大会を終えて「ハンドボール部

情報工学科 5年 鈴木 良助



私たちハンドボール部は9月に高知県で行われた全国高専大会ハンドボール 競技に出場しました。昨年の全国大会では、決勝戦で一点差で負けて準優勝と いう悔しい結果を残しました。今年は昨年のリベンジを目標に挑み、全国大会優 勝をすることができました。

私たちは昨年一点差で負けてから今年は「圧倒的な力で優勝」を目標に練習に取り組んできました。東海地区高専大会では危なげなく優勝し、全国への切符を手に入れました。全国大会では、予選リーグではダブルスコア、トリプルスコア以上の大差で勝利し、決勝トーナメントでは自分らのミスも重なって流れに乗れ

ない試合展開が続きましたがなんとか勝利することができました。また、個人的な目標であった

二年連続での優秀選手賞も獲得することができ、最高の結果で最後の大会を終えることができました。 秋からの新チームは今年の主力メンバーがごっそりと抜けるため厳しい状況になりますが、全国大会連覇を目指して頑張ってもらいたいです。5年生は一歩身を引いて頼もしい後輩たちを見守ろうと思います。

最後に、部活動を支えてくれた先生方や外部コーチ、頼りない主将に2年間ついてきてくれた部員、支えてくれたマネージャー、応援してくれた友人など、全ての人に感謝します。本当にありがとうございました。

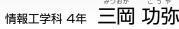


正射必中 弓道部

今年の全国高等専門学校弓道大会は9月1日から2日にかけて明石市の兵庫県立弓道場で行われ、本校は男子団体、男子個人および女子個人の部に出場しました。結果は男子団体の部で第3位および射道優秀賞を頂きました。また、女子個人の部では藤岡小温さんが準優勝、男子個人の部では私が優勝という成績を収めることができました。

大会前の練習ではあまり調子が良くなく、時間もあまりなかったので焦りを感じていました。しかし、今年は3年ぶりに合宿を行うことができたおかげで、自分で納得できる射をすることができ、自信を持って大会に臨むことができました。男子団体では全国大会連覇を目指していたので悔しい思いもありますが、選手全員が最後まで全力で弓を引くことができたと思います。

このような素晴らしい成績を収めることができたのも、豊田市弓道連盟の常本昭夫コーチや顧問の先生方、加えて部員同士での支えがあったからだと思います。来年は団体・個人共に優勝できるよう、さらに練習に励みます。





外留学体験







音楽センスを磨いた日々

機械工学科 3年 坂野 孝介

私は日本で吹奏楽部に所属しており、日本とは異なる、ヨーロッパ の音楽を学んでこれからの演奏に活かしたいと思い、ハンガリーに 留学しました。

ハンガリーの人は、おしゃべりが好きな一方で少しシャイなところ もあったり、街全体の繋がりが強く、街のほとんどの人と知り合い だったりと、とても興味深い人達でした。クラスメートも、私を明るく 受け入れてくれて、授業がほとんど分からない中でも、優しく、楽し くサポートしてくれました。

目的である音楽についても様々なことを学べました。私と同じく 楽器が吹けるホストブラザーと一緒に、街の吹奏楽団に所属し、毎 月イベントで演奏していました。毎年1月にある定期演奏会では、代 表してソロを務め、存分にハンガリーの音楽を学び、楽しむことが出



当初ヨーロッパの 音楽を学ぶ上で、留 学先をオーストリア とも迷っていました が、私の所属する吹 奏楽団とオーストリ アの吹奏楽団が交流 演奏会をして、オー



共にハンガリーへ来た留学生仲間

ストリアの吹奏楽の音楽についても学ぶ機会があり、本当に様々な 音楽が学べたと実感しています。

留学は自分のやってみたいこと、目的をできるだけはっきりさせ て行くと、とても充実した生活を送れます。みなさんも、絶対に日本 では体験できない非日常的な毎日を体験してみてください。



定期演奏会でアルトサックスソロ



四季豊かなノースカロライナ

電気・電子システム工学科 3年 中村 美優

私はアメリカのノースカロライナ州に派遣されました。パンデミック の影響で1年遅れての出国でした。

驚いたことにノースカロライナは日本より春夏秋冬がはっきりして いました。家の近くの湖へカヌーに乗って釣りをしたり、ホストブラ ザーと山へハイキングにでかけたり、とても自然豊かな場所でした。

ホストファミリーは同じ時期にナイジェリアからの留学生も受け入



保護猫カフェで見つけた ボランティア先の看板

れていました。私は彼女と一緒に 毎週金曜日にアニマルレス キューのボランティアに参加しま した。日本ではなかなかできない 体験ができて楽しかったです。



学校へはスクール バスに乗って行きま した。授業は最初の 頃は先生の英語が早 くて聞き取れず大変 でしたが、段々と慣れ ていきました。学校に は他に日本人はいま せんでしたが、ドイツ とイタリアからの留



早春、同州の私立大学にて、ホストファミリーと一緒に

学生がいました。彼らや現地の生徒とはアニメや漫画などの話題で盛 り上がり、改めて日本の文化はすごいなぁと感じました。

1年を通してハロウィンやクリスマス、イースターやプロムなどの アメリカの文化を一身に浴びることもできました。こんなご時世の中、



快く受け入れてくれたホ ストファミリーや送り出 してくれた家族に感謝し ています。

秋くらい、初めてのカヌーイング

第2の故郷ハンブルク

電気・電子システム工学科 3年 松田 紗和

私は高専入学前から海外留学、特にドイツへの留学をしたいと考え ており、なんとか試験をくぐり抜けてその夢が叶ったのですが、ホスト ファミリーが住むのは、名前を聞いたこともないハンブルクというと ころでした。ハンブルクはドイツの北の方の内陸部にあり、とても乾燥 して寒いところだと思っていたのですが、行ってみるとそこはヨーロッ パでも有数の港街で、ドイツ内でベルリンに次ぐ大きな都市でした。

私は初め言葉の壁もあり、自分の周りの人に、ドイツの方への偏 見でよく挙げられる不愛想で合理主義という印象を抱いていまし



た。確かにそれは正しい とも言えるのですが、先 代からの家に住み続け たり、その地の歴史を大 切にしたり、イベントや 休暇になると家族全員 でそれを祝い、楽しむこ

とが当たり前で、数か月も経たない うちにハンブルクの人の優しさや、 面白いほどの地元愛を感じ、自然と ハンブルクが私の生活の基盤と なっていきました。学校の友人も街 のことをたくさん教えてくれて、-緒に散歩をしたのを覚えています。

ハンブルクで約一年過ごした私 は日本に帰国して、ホストファミ

リーや学校の友人と一緒にいないことにとても違 和感を持っています。またみんなに会いにハンブ ルクに帰省したいです。



イースターエッグ探しの後

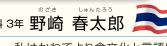


ハンブルク市庁舎とクラスメイト

大勢の親戚とクリスマス

々の温かさに触れて

情報工学科 3年 野崎 春太郎





タイの正月行事(ソンクラーン)

私はかねてより食文化と言語に 関心があり、タイへの派遣を希望し ました。

2021年は依然として感染症流 行のさなかで、到着してからの数か 月は学校に行けず、オンラインで授 業を受ける日々が続きました。私の 派遣先は東北部の小さな県で、のど

かな街並みと非常に辛い料理が印象的です。登校できない中、心の 支えになったのは周りの人々でした。毎朝運動したり、近所の子供た ちと遊んだり、立ち話したり。そのうちにタイ語も話せるようになっ ていき喜びを感じました。地元の市場に通ったり親戚の家に行った りして多くの料理に挑戦したのも楽しかったです。

秋からは遂に学校が始まり、複数のクラスで授業を受け、多くの 学生と知り合いました。日本語を学ぶ学生と互いに言葉を学んだこ

とや、マーチングバンドに所属し、毎 日朝夕と練習をして遠征に出かけ てイベントなどで発表したり、合宿 と題して学校に泊まったりしたこと は特に思い出深いです。

厳しい状況のなか、ホストファミ リーはもちろん学校の先生や留学 団体の方々は私に対して最大限尽



友人、先生と訪れた寺院にて

力してくれました。素敵な人々に囲まれ本当に幸せな一年を過ご

再びタイを訪れる日を今から心待ちにしています。



家族で外食



チングバンドのメンバーと

イタリアの文化と歴史に惹かれて

建築学科2年 杉山 さくら



イタリアの北東部にあるウディネの街で過ごした日々は決して 単なる思い出ではなく、建築学生としての力がさらに身についた 10ヶ月間でした。



ヴェネツィアのカーニバル

私は幸運なことに、ホストスクール の美術高校で建築コースに所属して いたため、常に建築に触れて過ごしま した。学校生活の中で新鮮だったのは 授業スタイルの違いです。高専では理 数科目中心の授業ですが、イタリアで は美術と建築の結びつきが強いです。 見た目の美しさを追求し、アイデアを 形にしていく。留学を通して自分の好 きな分野に気づくことができました。 また、CADソフトを使いながら、1年 かけて階段の設計方法や手すりのデ ザイン方法を学びました。クラスメイトと 協力して課題に挑んだときには、教え 合ったり、悩んだりと、仲間と共に創意工 夫したことが楽しかったです。

世界遺産の数が世界一多い国でもあ り、古代ローマ時代の遺跡や人々の憩い の場として愛される広場、機械のない時 代に作られたとは思えないほど繊細で迫 力ある大聖堂など、どの街を訪れてもそ れぞれの魅力に圧倒されました。

他にもイタリア 人の人柄、食べ 物、ファッションに 音楽。語りきれな いイタリアの魅力 をこれからも発信 していけたらと思 います。



ホストシスターとサッカーの試合観戦



新外国人留学生紹介



新しい生活と将来の考え

機械工学科 3年 アダムルクマン ファズリン ビン モハマド ファウジADAM LUQMAN FAZRIN BIN MOHD FAUZI

こんにちは皆さん、3年機械工学科のアダムです。マレーシアから来ました。日本に来る前に2年間ぐらいINTEC EDUCATION COLLEGEで日本語を勉強しました。私は高校を卒業してから日本の高等専門学校と言うプログラムを知って日本に留学することを決めました。家族はその決断を受け入れてくれました。それから私は一生懸命頑張りました。2年間日本語を勉強している間、新型コロナウイルスの影響でずっと遠隔授業を受けていました。一人での勉強は大変でしたが文科省試験に合格できてうれしかったです。

日本に着いてから私の新しい生活が始まりました。今まで海外で 一人暮らしの経験がないので今回の留学は大きなチャレンジにな ると思います。とにかく頑張らなければなりません。私をお世話して くださっている先生や先輩、友達にはとても感謝しています。たくさ んのことを手伝っていただいて日本の暮らしに慣れることができました。また、私はこの留学を通して日本の文化を学びたいと思っています。それだけでなく、いろいろな観光地も旅したいと考えています。都市や地方でどの



ように人々が生活しているのか知りたいです。おすすめの場所があれば教えてください。

私は自分の未来のために海外で勉強することを決めたのでたく さん困難があっても努力して乗り越えます。3年間、一緒に暮らして 勉強して皆との思い出を作りたいと思っています。これからどうぞよ ろしくお願いします。

役に立つこと

はじめまして!建築学科3年生のファロスです。インドネシアから来ました。去年の5月に日本に到着し、それから10ヶ月間ぐらい東京で日本語を勉強しました。そして、今年の4月に豊田高専の第3学年に入学しました。

私は以前に5年間ぐらい日本に住んでいたことがあります。その時に、日本は勉強のための環境が整っていて勉強に集中しやすい国だと感じました。そして母国に帰国しても、やはり日本でまた勉強がしたいと思っていました。また、日本の住宅や公共施設などの建築物を見て、日本の建築に興味を持ちました。日本の建築物は環境に優しく、構造も強く、技術の面でも優れています。これらの理由が私を日本まで連れ戻してくれたのです。

豊田高専での生活が2ヶ月以上経ちました。クラスでの授業を始

建築学科 3年 ファロス アダム FARROS ADAM

め、寮での生活、それから学校のイベントなどの行事を通して、ありがたいことに楽しい高専生活を送らせていただいています。先生方や友達も優しく接してくれて、苦しいことなく勉強も頑張れています。これからも自分の出



せる1番の力を出し、高専生活だけでなく大学そして社会へ出ても 頑張り続けたいと思っています。そして将来は建築家として多くの 人の役に立ち、生活の支えになりたいと考えています。

今はまだ未熟でわからないことだらけなので、これから日本で多くの経験を積み、知識を学んでいきたいと思います。読んでいただきありがとうございました!

別の場所、別の経験

こんにちは。建築学科3年生のリナです。生まれた国はカンボジアです。去年の5月に日本に来て、1年間くらい東京で日本語を勉強しました。その期間に日本語の勉強だけでなく、さまざまな文化と生活についても学びました。

豊田高専に来てからは2月ほどたちました。寮、校舎、先生、 チューター、クラスメートなど、ここの環境がとても気に入っています。また、歓迎されていると感じています。

私が選んだ専攻は、日本語が少し難しいですが、勉強を楽しんでいます。自由な時間に図書館に行くことも私の好きなことです。私の研究に関連する建築の本がたくさんあり、そこからより多くの知識を得ることができるからです。それだけでなく、スタンプを集める

建築学科 3年 シブ リナ SIEV LINA

ことも好きなので、暇な時はたいていそのスタンプを日記にこだわって書いています。またアニメを見ることも趣味です。

今年の私の目標は、ここにいるす

べての人と良好な関係を築き、私の研究で良い結果を得て、旅行などをして、この近辺をもっと探索することです。また、日本文化に参加して学び、この環境に適応したいと願っています。

留学中はもちろん困ったこともありますが、さまざまな経験をすることができます。これから3年間豊田高専でお世話になりますので、どうぞよろしくお願いします。



国際交流センターだより

コロナ禍での国際交流事業

国際交流センター副センター長 環境都市工学科 准教授 松本 嘉孝

豊田高専に国際交流センターが発足し3年目となりました。センターの役割の一つとして、高専機構本部から採択されたグローバルエンジニアリング育成事業「英語を「使う」ことで育てる学生のグローバルマインド」(令和元年度~令和5年度)を実施することがあります。この事業は以下の4つの取り組み①英語で数理基礎を学ぶ、②未留学生も国際交流、③課外活動で英語を使う、④長期留学を増やすを通して、本科学生の英語運用能力を底上げし、グローバル思考を身に付ける意

図があります。

TEDxでの交流会の様子

しかしコロナ禍もあり、当初の計画通りに事業を進めることが困難な状況です。特に、本校の特色でもあった海外長期留学の機会を失ってしまった学生達にとっては非常に残念な状況が続いています。ただ、英語に触れる機会、英語を使う場面を継続するため、センターではいくつもの授業やイベントを実施しています。以下にその内容について記します。



当時本校情報科5年生 ニコラス君(現在豊橋技術科学大学在籍)



当時本校環境都市工学科5年生 ジェラルド君(現在豊橋技術科学大学在籍)

■授業での英語

本校の特徴の一つでもある英語多読を1年生、2年生の英語授業で取り組んでいます。本校図書館での学生の多読図書貸し出し数は、年々上昇しており、英語を英語として豊富にインプットすることをしています。

3年生の「科学英語基礎」では、1年を通して基礎的な物理、化学の内容をすべて英語で再勉強しています。講師は自らも化学の博士号を修得しているレジーナ・サルマサン氏であり、科学用語を英語で学習するだけでなく、グループでのディスカッションやアクティビティーを通して**まるで海外の高校へ留学したような疑似体験**ができます。

■授業外での英語

一昨年から開始している、海外の同世代の若者と一緒にSDGsに関するビデオの作成をする「国際ビデオコンテスト」や、専攻科学生達が国際会議にて英語で研究発表をしました。

令和3年度には、全国の高専では初のTEDイベントとなる、「TEDx Toyota KOSEN」を実施し、学校内外からのスピーカーや参加者で盛り上がりました。このTEDxには本校留学生や卒業生、中学生そして田川前校長など8名が登壇し、各々がSDGsに対して持っているアイデアを英語で堂々と披露しました。スピーチの後には交流会として、参加者も一緒にSDGsについて英語でディスカッションする機会を設け、こちらも多くの参加者から充実した言葉をいただきました。豊田高専にて、国際色豊かで知的な刺激あふれるイベントが開催できたことは、TEDx開催に携わった学生たちの熱意が結実した結果と言えます。

■その他

令和2年度は2名しか長期留学に行けませんでしたが、令和3年度は39名が世界各国へ約1年間の留学へと飛び立ちました。コロナ禍前の人数に戻りつつあります。

令和4年度はインドネシア、カンボジア、マレーシア、モンゴルからの留学生10名が学寮で生活しながら高専での勉強に励んでいます。この夏は約2年ぶりに故郷へ帰ることのできる学生もおり、帰国を心待ちにしているようです。





TFDxスピーカーと開催中心メンバー

新任教職員紹介

新しい環境での刺激と成長

情報工学科 助教 三浦 哲平

2022年4月に着任しました三浦哲平です。大学院で修士号を取得したのち、2014年まで愛知県にあるソフトウェア開発の会社でエンジニアとして働いていました。2015年からの2年間は青年海外協力隊としてタイ王国に派遣され、技術系教員のような立場で中高一貫校に赴任し、プログラミングやソフトウェア開発を教えていました。タイ語と英語を織り交ぜながらの授業はとても大変でしたが、失敗と改善を繰り返すなかで成長できたと感じています。また、現地の学生が技術的にも、人間的にも成長していく過程に関わり、教育に携わることの楽しさ感じました。それまで、エンジニアとして働いてきた私にとって、自らの新しい面を知る機会となりました。

帰国後は、博士号取得のため大学院へ入学し、研究に取り組んできましたが、その後のキャリアを考える中でタイでの経験を思い出し、教育機関へと進むことにしました。豊田高専に着任してから短い期



間ですが、学生の能力はもちろん自主性・行動力に驚きと刺激を受けています。寮務主事補として関わらせてもらった寮祭では、 学生が主体となって企画から撤収まで行う様を見て頼もしさを感じました。みなさんの学生生活、そしてその後の人生の一助になれるよう、私自身も専門技術・教授法など成長していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いします。

「北海道から豊田の地へ」

環境都市工学科 助教 小笠原 明信

令和4年度4月より、環境都市工学科に着任しました小笠原明信と申します。出身は青森県ですが、北海道の大学院で博士(工学)の学位を取得しました。これまでの27年間は北国で暮らしてきたため、寒さには強いですが暑さには弱いです。また、学生時代は野球に携わっており、過去に岩手県出身のメジャーリーガーである大谷翔平選手と対戦したことがあります(大敗)。この度、本校野球部の顧問となりましたので、試合にもこれから来る愛知県の暑さにも勝てますよう尽力して参ります。

自身の研究分野は地盤工学であり、「川が関係ないプロジェクト、海が関係ないプロジェクトはありますが、土が関係ないプロジェクトはありえない(宙に浮く飛行機も滑走路が必要)」という言葉を聞いたことが私の地盤工学を学ぶきっかけです。土は地味な印象がつきまとうものですが、「土」をよく知り、利用することは面白いことだということを、研究や授業、実験等を通して学生達に伝えていきたい



と思っております。また、高専での勉学の内容が現場での問題解決時に役立つ事例を挙げ、学生の普段の勉学意欲とその必要性を醸成したいと考えております。

初めての社会人ということで実際に働いてみますと、日々皆様からのサポートに救われていることばかりです。このような温かい環境である豊田高専で社会人としてのスタートを迎えられたことを大変嬉しく思っております。まだまだ至らない点もございますが、学生達と共に学び、共に成長していけますよう精一杯努めて参りますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

高専生から高専教員へ

建築学科助手 縄田 諒

令和4年度4月より、建築学科に着任しました縄田諒です。兵庫県にある明石高専建築学科、同高専 専攻科を卒業し、和歌山大学大学院をへて本校の建築学科の教員となりました。大阪府生まれ、兵庫 県育ちで、生まれてこの方28年間関西圏を離れて生活した経験がないため日常的に関西弁で話して いると思いますが、温かい目で見守っていただけると幸いです。

明石高専では専攻科まで経験し、高専に関することは学生生活から教育まで身にしみて実感してきました。豊田高専の皆さんも高専生の真面目さや、人柄など多くの点で似ている部分があり、日々その優しさに支えてもらっていると感じています。高専での学生経験に加え28歳という若さを生かして、教員と学生の目線を合わせた教育を目指して精一杯頑張ります。

建築学科は建物図面の書き方から、構造計算、環境、法律まで建物を建築するための様々な基礎知

識を学ぶ学科です。建築は日々私たちの生活とともにあり、建物が作り出す空間が私たちの生活や感情に少なからず影響を与えていると考えております。人々が美しいと思ったり感動したりする空間は、私たちの生活をより豊かにしてくれます。私の研究や経験を生かして、学生の皆さんが人々の生活を豊かにできる建築を行えることを目指しています。皆さんと一緒に建築の「楽しい」や「面白さ」を共有していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



十数年ぶりの愛知県勤務です。

事務部長 浅見 宏信

2022月4月に事務部長に着任した浅見宏信です。3月までは鈴鹿高専に3年間お世話になりました。出身は愛知県の北名古屋市ですが、20代の末からの関東での勤務が長かったです。本省や独立行政法人、大学に勤務していました。

今、高専は、注目を集めており、関係業界、議員さんや行政から、期待されています。豊田高専は高 専の中でも伝統校であり、人や立地も良く、発展の可能性が高いので、それに資する活動をしていき たいと思います。いろいろな地域や組織を経験しましたが、この地域、組織、ひとには、他にはない 「底力」を感じます。

業務については、学生へのサービス向上により、入学を望む中学生を増やし、職場環境の改善による教職員の待遇が良くすることを進めていきたいです。そのために、今までのやり方の見直しや、外部団体との協調などをしていきたいです。

何より、学生だれもが楽しく有意義に5年間(専攻科は7年)を過ごし、教職員のだれもが自分の仕事に誇りを持て、楽しく仕事ができるような学校にしていけるよう努力したいと思います。よろしくお願いいたします。



4機関目で初めての愛知県勤務

学生課長 長谷川 敬司

4月1日より学生課長に着任しました長谷川です。出身地は、静岡県の掛川市というところです。前任地は静岡県の沼津高専で、過去3年間は財務・施設担当の課長補佐を務めておりました。静岡県には文部科学省の機関が5つありますが、静岡大学(静岡市・浜松市)・沼津高専(沼津市)・中央青年の家(御殿場市)と3機関、県の西から東まで様々なところに勤務しておりました。

このたび、4機関目の勤務先として初めて愛知県内の機関に勤めることになりましたが、豊田高専は2校目の高専となります。第一印象としては、キャンパスが広くて明るくて、先生方がとても熱心な学校というイメージを持ちました。前任地も高専でしたが、やはり校風や文化みたいなものが学校によって異なるので、まだまだ戸惑うことが多々あります。加えて大学でも財務系の仕事をしていた期間が長いので、学生課での業務に不慣れなところもありますが、なんとかやっていきたいと思ってお

ります。あと、愛知県に住むのも初めてですが、豊田市は自然も多く、とても住みやすいところと感じています。

静岡に住んでいた頃は、毎日のようにサッカーをしていましたが、怪我をして今はあまり運動ができないので、こちらで何か新しい趣味を見つけたいと思っています。

この街にも学校にもなるべく早くなじんで、役に立てるようになりたいと思っておりますので、これからよろしくお願いいたします。



新たな気持ちで頑張ります

学生課教務係 鳥丸 翔平

令和4年4月1日付けで、学生課教務係に着任致しました鳥丸翔平と申します。出身は長崎県の出身ですが、愛知県に来て10年程になります。今までの経歴としては、コンビニエンスストア業界で10年近く仕事をして参りました。具体的な仕事内容としては、フランチャイズに加盟されている加盟店のオーナーさんに対して売上・利益を上げる為の経営相談や店舗運営のアドバイスを行う仕事になります。その為、学生課教務係での仕事は全てが初めての経験で新鮮な日々を過ごしております。学生の皆さんとも接する機会が多く、教務係の仕事のやりがいや楽しさも日に日に実感することが出来てきました。

また、私個人のこととして趣味は野球とパン作りです。野球は子どもの頃からやっており、小さい頃はプロ野球選手になるのが目標で野球漬けの生活をしてきました。大人になってからも、最近はなか

なか出来ておりませんが草野球を続けて参りました。プロ野球の観戦も好きで、定期的に観戦も行っております。パン作りは、4年目になる趣味です。きっかけは、パンが好きでパン屋巡りをしていて自分でも作ってみようと思い初めました。毎週、パンを作り家族にふるまっております。最近は酵母にも挑戦し、米粉100%のパンも作れるようになりました。

最後に、豊田高専で働かせて頂く上で、意気込みを言わせて頂きます。"学生さんに対して私の出来るサポートを全力でさせて頂きます"まだまだ、経験がなく力不足な点はございますが、常に前向きに頑張ります。よろしくお願いいたします。





学生サポート室だより

学生サポート室です!

皆さん、こんにちは。学生サポート室長の榎本です。学生サポート室では、学生生活を送る中で困りごとに直面した学生さんからの悩みを受け、困りごとを解決するための支援を行っています。その過程において、看護師さんやカウンセラーさんといった身体や心の専門家のお世話になる機会も多いです。今回の広報では、看護師さんやカウンセラーさんから「今、学生の皆さんに伝えたいこと」を発信してもらいました。忙しい日々の中で「自分へのケア」を忘れてしまっているあなた。少し立ち止まって、自分の身体と心を見つめ直してみませんか?



障害学生サポート

学校の設備設計や教育カリキュラムでは、その設備使用者や受講者として「障害を持たない人」を想定している可能性が高いと思われます。そのような場に「障害を持つ人」が参加すると、その方は思わぬ困難に直面することになるでしょう。本来であれば設計時に、「障害を持つ人」が使用する・受講する可能性を考慮し、その方が不自由さを感じない社会づくりを進めるべきです。

学生サポート室の障害学生支援部門では、障害を持つ学生さんが本校で直面する困難に対し、学校として対応可能な支援を行っています(合理的配慮と呼ばれます)。何か困りごとがある場合は、教務係まで相談してください。「困りごとの具体的な内容」「希望される支援内容」をじっくり聴かせていただいた上で、現実的な解決方法について話し合っていきたいと思います。

身体の健康 栄養を気にしてる?

皆さんの身体は何でできていると思いますか?私たちの身体は「食べたもの」でできています。健康な身体になるか、不健康な身体になるかは食べたものの質と量で決まります。

保健室に来室する体調不良の学生に話を聞くと、時々、間食しすぎたという話を聞きます。なぜ間食しすぎることが不調につながるのでしょうか。お菓子やジュースで満腹感を得ることで、きちんとした食事が食べられなくなり、栄養が偏ってしまいます。糖質を摂取することでそれを代謝するビタミンB1等の必要量が増えますが、スナック菓子にはビタミンB1が含まれていません。そのため、エネルギー代謝がうまく働かず、だるくなったり、気力や集中力が低下したり、再びスナック菓子を食べてしまうという悪循環になります。また、免疫力が低下したり、肌荒れや湿疹などが出やすかったりします。

間食を少しでも身体によいものに変えることで、身体への悪影響や罪悪感を減らすことができます。皆さんはどのような工夫をしていますか?

最近「疲れているな」「肌の調子がイマイチだな」と感じるときには、口にするおやつを少し体によくて手軽にとれるものに変えてみます。たとえば、アーモンド、クルミなどのナッツ類やバナナ、ヨーグルトやキウイフルーツなどです。これらにはビタミンB群が多く含まれ、疲れや心身にもよい影響を与えてくれる働きがあるので、そのような時は、ぜひ試してみてくださいね。 (看護師:木之本)

野菜と肉・魚を意識して食べるようにし、ついつい食べ過ぎてしまう炭水化物や糖分は控えめにするようにしています。

(カウンセラー:都築)

食後の甘いもの、誘惑にはかないません。仕事以外の時はキシリトール入りガムを嚙むと誘惑に負けずに済みます。噛む動きは口さみしさの軽減や、集中の助けになると感じます。食べ過ぎるとお腹を下すことがあるので、味がなくなってもしばらく噛み続けるようにしています。 (カウンセラー:原質)

心の健康

ほっとかないで、そのストレス

「ワークライフバランス」という言葉を知っていますか?「仕事と生活の調和」等と訳されることがありますが、学生にとっても大切な考え方です。学校生活、家庭生活、社会生活といった様々な環境で経験を積むことで心の成長が促進されます。そこでは、やりがいや充実感が得られるとともに、ストレスも受けることになります。

残念ながら、ストレスを完全に取り除くことはできませんし、ストレスによっては良い結果をもたらすこともあります。つまり、ストレスとの付き合い方を身に着けておくことが、心の健康を守るうえで大切といえます。

学生相談では、主にカウンセリングの形でお話をお聴きすることでストレスの軽減を目指します。皆さんは自分ではどのようにストレスと関わっていますか?

私の気晴らし、ストレス解消法は、友達とランチしておしゃべりすること、ショッピングモールに行くこと、公園に花を見に行くこと、映画を見に行くこと、テレビでドラマや討論番組を見ること、ピアノを弾くこと、月に1回絵画教室に行くことです。マッサージを受けるのも大好きです。身体が楽になって気持ちまで楽になります。これからはウィズコロナで旅行にも行けるようになってきたので、いろいろな所に行きたいです。国内で行きたい所は、東京、大阪、北海道、長崎で、海外旅行もまたいつか行きたいです。

ほかにも、いろいろな角度から物事を見ることも役立っています。一方からの見方だと腹が立つことでも、別の角度から見ると許容できることがあります。例えば、トイレで並んでいて横入りされたとき、「きっとこの人は限界ぎりぎりだったんだ」と思えば許せます。そんな感じで物事を相手の方向から見ると、怒りが和らぐことがありますよ。(カウンセラー:都築)

毎日通る道でも、いつもと違った景色がないか気にかけながら歩くようにしています。勉強でも、新しいことを知るとワクワクしますよね。1日ひとつでも「新しい発見!」が得られると1日の疲れが吹き飛ぶことも。まとまった自分の時間を確保できれば良いのですが、なかなかそうもいきません。日々の小さなワクワクや発見から癒されるよう、あえてルーティーンから外れた行動をするのもストレス軽減に役立つと思います。(カウンセラー:原賀)

私は「ストレスがかかりそうだな〜」「嫌なことがあった(ありそうだな)」と感じたときは、多めのビタミンCを摂るようにしています。時には、ビタミンCの多く含まれる錠剤やタブレットを携帯しあらかじめ飲んでおいたり、ストレスがかかった後に補給をします。 具体的な食材は、夏はキウイフルーツ、冬はみかんやイチゴなどのフルーツなどで積極的にビタミンCを摂取します。そのことがストレス軽減につながると考え定期的にとっています。皆さんも一度試してみてくださいね。(看護師:木之本)

保健室 自慢の活動紹介!

保健室では、令和4年1月に高専生のための自炊ガイドブック「高専めし」を有志の学生とともに作成・発行しました。細部にわたり拘り抜いた、高専生による高専生のための情報発信は、より身近に食を感じられる内容とすることができました。ある留学中の学生からは「ホストファミリーと代わる代わるで夕飯を作っているので、献立に困ったときの助けになりました。環境が変わり心も体もしんどいなと思ったときや、疲れたときに取りたいもののコーナーは本当に助かりました!」といった感想も寄せられました!



グループ活動も展開中!

スクールカウンセラーの活動のひとつとして、様々なテーマに沿って交流するグループ活動を開催しています。学生同士の繋がりができたり、新しい考え方や視点に気づくきっかけが得られる場として約5年ほど続いている活動です。

<これまでのテーマ>

趣味、ストレス発散方法、勉強の仕方、行ってみたい所、お気に入りの料理 など

学生サポート室

障害学生支援

学生相談(SC)

- ◆ 学生サポート室では、学生の高専生活全般をサポートするため、総合的な視点から課題を取り扱います。
- ◆ サポートに必要な対応があれば、学生の同意を得て学生サポート室外の教職員と連携することもあります。
- ※ 図中において、NSは看護師、SCはスクールカウンセラーを意味します。



全国ソフトテニス大会(高級)

Calendar

8 AUGUST

2022

8月5日~9月22日 本科夏季休業 8月 6日 体験入学 8月8日~9月30日 専攻科夏季休業 8月 23日 令和5年度編入学試験 8月27日~28日 全国ソフトテニス大会(高松)





2022

9月 4日 ハンドボール全国大会

9月 25日 開寮

9月 26日 本科授業再開 9月 26日 学寮防災避難訓練

9月 28日 自動車等使用講習会



10 october

2022

10月 3日 専攻科授業再開,後学期授業開始

10月 5日 避難訓練

10月8日~9日 オープンキャンパス

10月15日~16日 全国高専プログラミングコンテスト 10月 23日 ロボットコンテスト(地区大会)









八少門記一ル全国大会

自動車等使用講習会

Ō











Ō



豊田高専広報第129号 2022年10月26日発行

豊田工業高等専門学校 広報委員会

https://www.toyota-ct.ac.jp/